



海外の取り組み

海外でも社会貢献を推進します。

海外での社会貢献活動

❖ ガーナ

ジョイセフ"お母さんを笑顔にする活動"を支援

ロッテでは、途上国の妊産婦と女性を守る公益財団法人「ジョイセフ」の"お母さんを笑顔にする活動"に賛同し、2008年から毎年、ガーナ共和国へ再生自転車約200台分を届ける取り組みを支援しています。診療所が不足している現地の村に届けられた再生自転車は、保健推進員や助産師が利用し、妊産婦の診療所への搬送や家庭訪問による健康教育などに用いられます。1台の自転車によって600~800人に基礎的な保健医療活動を行えるようになるとのことです。

2017年は、3月に、現地で活動するスタッフのために四輪駆動車1台を寄贈しました。今後も女性を笑顔にする活動を支援していきたいと考えています。



四輪駆動車

日本とガーナ共和国との国際文化交流活動を支援

「ガーナよさこい支援会」が展開する、日本とガーナ共和国の国際文化交流活動を2005年から支援しています。

2017年8月には、ガーナ共和国の高校生21名が研修旅行に来日。日本の高校生や訪問先地域との交流を行ったほか、「ロッテ・ガーナよさこい連」を結成して「原宿元気祭りスーパーよさこい」に参加しました。これらに加えて、ロッテ浦和工場のチョコレート製造ライン見学も実施されました。

今後も両国の若者の交流を支援し、視野の広い青年を育て、両国並びに世界の平和と繁栄に寄与することを目指します。



ガーナ共和国の高校生による日本研修旅行

❖ タンザニア

タンザニアの中学生の工場見学を受け入れ

2017年6月、タンザニアの「さくら女子中学校」から、生徒4名と引率の先生方の計8名がロッテ浦和工場を見学に訪れました。こうした見学の受け入れを通じて、日本のものづくりへの姿勢に関する理解を深めていただきたいと考えています。

❖ オーストラリア

「コアラ基金」にゴールドスポンサーとして協力

オーストラリアだけに生息する野生動物コアラは、都市開発などにより生息数が大幅に減少しています。同国では野生コアラの調査と長期にわたる保護を目的に「コアラ基金」が設立され、主食であるユーカリの森を守り植樹するなど幅広い活動が展開されています。

ロッテは「コアラのマーチ」の発売10年にあたる1994年から同基金に協力し、日本におけるゴールドスポンサーとして、絶滅危惧種にも指定されるコアラの保護活動を支援しています。



コアラの保護活動をテーマとする出張授業を実施

ロッテは、朝日新聞社主催の環境教育プロジェクト「地球教室」に毎年協力しています。このプロジェクトは、各協賛社、官公庁、自治体、NPO、NGO、小学校教員などが協力し、次世代を担う子ども達に環境保全の重要性を伝えるものです。その一環として、コアラの保護活動などをテーマとした出張授業などを行っています。

2017年度は、9月24日に全国の小学4～6年生約110人を集めて東京・有楽町で行われた「かんきょう1日学校」と、10月27日に実施した富山県砺波市立砺波北部小学校へのお出張授業で、コアラを題材として取り上げました。



かんきょう1日学校

❖ タイ

タイ・チェンマイ動物園のコアラサポーターとして活動

タイのグループ会社・タイロッテ社でも「コアラのマーチ」を販売していることから、オーストラリア・コアラ基金（上記）に連動して、2016年からチェンマイ動物園でのコアラサポートを実施しています。現在は、2006年の国王陛下（当時）60周年記念にオーストラリアから送られたコアラのサポーターとして、飼育エリアの整備などを支援しています。

歯の健康をサポートするイベントを実施

タイロッテ社では、2018年3月、タイ北部の山間部に住む小学生約300人を対象としたイベントを開催。歯の健康をサポートすべく、歯科医による無料検診などを行いました。



イベントの様子

さまざまな形で地域貢献・地域交流を検討

タイロッテ社では、障がい者の就業支援（2016年開始）や学生の職業経験支援（2017年開始）を継続的に実施しています。また、工場の近隣の小学生と植樹活動やペインティング活動を通して交流を図っており、さまざまなかたちでの地域貢献、地域交流に取り組んでいます。



学生支援活動



小学生との共同作業

インドネシア

母と子の交流を支援する取り組みを実施

ロッテインドネシア社では、2016年から、現地の母の日（12月22日）を「チョコパイ」を通じて支援する活動を行っています。

この取り組みでは、親子で過ごす時間が減ってきているというインドネシアの社会的課題に注目。ジャカルタ近郊の小学校で「チョコパイ」とメッセージカードを配布し、お母さんに感謝を伝えるきっかけづくりをしています。

お母さんを応援するブランドである「チョコパイ」を通じて、今後も親子の絆を深められるような取り組みを続けます。



インドネシアの小学校で母の日を支援

ベトナム

ロッテベトナム社がブランドアワード菓子部門で最優秀ブランド賞を受賞

2017年12月、ベトナムで事業を営むグループ会社・ロッテベトナム社が、Asia Pacific Brand Foundation (APBF)（※）主催の2017年度ブランドアワードでベトナム菓子部門ベストブランド賞を受賞しました。

同社は2016年（平成28）から、VOSA（ベトナム歯科協会）推奨商品である『キシリトールガム』の「歯を丈夫で健康に保つ」価値を最大限に訴求。現地の嗜好・文化風習に合わせた商品展開やマーケティング活動により、トップシェアを獲得しました。今回の受賞は、この取り組みが評価されたものです。



受賞トロフィーと表彰状

※マレーシアのマハティール現首相が設立した非営利財団

歯科医師会とのタイアップで地域の方の健康を支援

ロッテベトナム社では、地域の方の健康づくりを支援し、『虫歯のない社会』『豊かな社会』の実現に貢献するため、2015年～2017年の3年間に、ハノイとホーチミンの44大学で歯科医師会とのタイアップによる無料のデンタルチェックを実施しました。

同社ではこのほかにも、地域環境への取り組みなどを行っています。2017年11月には、ハノイ・ホーチミンの2大学で「きれいな緑を守ろう！」キャンペーンを実施。現地ユースユニオンの大学生らとともに構内および周辺の清掃活動を行いました。

❖ ポーランド

現地有力誌の企業ブランドランキングで2年連続1位を獲得

ロッテウェデル社は、1851年に創業し、2010年にロッテグループの一員となった老舗チョコレートメーカーで、近年ではこれまで以上にCSR活動にも力を入れています。伝統の力に新たな推進力が加わったことが評価され、2017年度には、現地有力紙『ジェチポスポリタ』主催の企業ブランドランキング総合部門（2017）で2年連続の1位に輝きました。今後もロッテグループのグローバル事業を牽引し、新たなビジネスチャンス創出を図ります。



表彰式の様子

健康でゆたかな社会づくりに向けたさまざまな取り組みを実施

ロッテウェデル社では、さまざまなCSR活動に取り組んでいます。例えば、社会支援団体と協力して展開している活動として、自社のチョコレートに関するノウハウを活かしたチョコレートワークショップの開催から、若手アーティストのための映画祭の実施、ワルシャワ工場屋上での養蜂箱設置まで、多様な取り組みを継続。また2016年からは、障がいを持つ人々を対象に、サッカーを中心としたスポーツ大会を開催しています。

歴史ある社屋の外観を保存

ポーランドの首都ワルシャワにあるロッテウェデル社の本社社屋（工場、オフィス）は、1927～1931年にかけて建設された歴史的に価値のある建造物です。特にその壁面は、第二次世界大戦の混乱を経てなお建設当時の姿を保っており、当時のワルシャワの建築を現代に伝える重要な産業遺産に指定されています。この社屋の外見を保つため、2007年から2010年にかけて外壁の清掃を行ったほか、増改築などを実施する際は、現地・ワルシャワ市の法令に従い、適宜必要な許可を得ながら進めています。



ロッテウェデル社屋